

タンネウシ11月号

11月の行事

オオワシの渡りと海鳥観察会

11月13日（日）9:00～12:00頃まで
（渡りの状況により時間延長あり）

場 所：知布泊漁港（日の出）現地集合・解散
持ち物：双眼鏡・防寒具・軽食など。

小学生以下は父兄同伴。

雨天の場合は、11月20日に延期。

参加料：大人のみ 200円

11月は、オオワシの渡りシーズン。知床の海岸を岬に向かって次々に渡って行きます。海上や港内には冬の渡り鳥（海ガモ類やウミスズメ類など）が見られます。

現地集合ですが足のない方はお申し出下さい
スタッフの車に同乗可能です。

秋の星座とアンドロメダ大星雲観察会

11月26日（土）19:00～

場所：博物館天体ドーム室

悪天候の場合は延期します。日時は後日お知らせいたします。

参加料：大人のみ 200円

参加申し込みが必要です。

小学生以下は父兄同伴のこと。

12月の行事

恒例「餅つき大会」12月28日（水）10:00～

博物館は、昭和53年の12月28日に開館しました。それを記念しての餅つき大会です。他にゲームもあります。詳しくは来月号で。

知床博物館第27回特別展 『世界遺産・知床』好評開催中

知床は世界自然遺産に登録されました。その理由の一つが生物多様性です。南方系と北方系両方の生物が見られ絶滅危惧種の生物も多く生息しています。知床の多様性を知って下さい。

期間：10月8日（土）～12月4日（日）
通常の観覧料でご覧になれます。
（70才以上の町民は、
12月24日まで入館が無料です）

【展示内容】

世界自然遺産とは
なぜ知床が世界遺産に登録されたか
多様な知床の生物

北方系と南方系、絶滅危惧種
特異な知床の生態系

知床のたどった道

知床の課題と解決に向けて

「データブック2005」が出来ました。一冊400円で販売中！ 会員様には進呈いたします。

【主な展示物から】

絶滅危惧種のオジロワシやトド、オサガメなどのほか、収蔵資料より下記の標本類を展示。

南方系生物標本（カイダコ・テングハギ・ハリセンボン・アオウミガメ、ハシボソミズナギドリ等）北方系生物標本（オンデンザメ、クロトウゾクカモメオットセイ等）希少種標本（エトロフハナカミキリ、シレトコマルクビゴミムシ、チャマダラセセリ、カラフトルリシジミ、ヒメホオヒゲコウモリ、エゾノヨモギギク等）絶滅種（カワウソ）外来種標本（セイヨウオオマルハナバチ、オオモンシロチョウ等）



トピックス 10月にはいると、ヒシクイの群れが見られるようになりまして 下旬には、ふわりふわりと飛ぶカケスが山からおりてきて、白鳥群れも来ました 11月はいよいよオオワシの渡る季節です 次々と飛んでくる勇姿には感動！ 観察会でご覧下さい データブック2005は、知床の川や山、希少種や外来種のリスト、生息する各種生物のリストなど満載 鳥や哺乳類には英名も付けられており外国からのお客様の案内にも便利です 10/24斜里岳・海別岳・知床連山すべて冠雪 冬将軍の姿が見えました。（ひら）